

局長たいり 4月

◇学力研最新情報

常任委員長 岸本 ひとみ

○未履修をどうするのか

3/2の午後から修了式までが臨時休校になった私の地域では、「未履修調査」が10日頃に届きました。添え書きには、未履修については次学年で履修するのが望ましいとありました。春休みの課題として、新学期に到達度テストをすればいいというような指示も含まれていたのには、啞然としてしまいました。これでは、学力格差が開くばかりです。

全国的にも、3年4年5年の算数で、未履修が出ていると予想しています。そこへ、新指導要領がやってきます。混乱の中で、学校内できちんと整理して、未履修部分の習得にまで至るかどうかは、疑問です。

いろいろ考えたのですが、これは帯タイムを使って、少しずつ習熟を図るしかないでしょう。1学期の間に、未履修部分の習得とまではいかないまでも、履修した状

態にまでもっていかなければ、学年が上がっていくに連れて、問題が大きくなっていくと考えています。私の学校では、今年度の研究教科は、英語。そして、「深い学び」を追究する授業とは、をテーマに決定していますが、その中で、未履修問題も取り上げていかざるを得ないと考えています。

こういうときに、とても助かるのが、学力研の出しているプリント集です。特に今回使おうと思っているのが「朝学プリント 低・中・高学年」の3冊シリーズと、「単元別まるわかりシリーズ」です。朝学の方は文字通り、帯タイム用ですし、単元別は未履修部分のみを、毎日少しずつ進めるのに適しています。新年度の職員図書として購入してもらう第一号になるかもしれません。

会員のみなさんの学校では、どのように対応されるのか、いいアイデアがあれば、ぜひ教えてください。こういふ時こそ、学力研の出番ですね。

◇事務局だより

事務局長 岡本 美穂

2月に石垣市の教育委員会主催の研修会に参加してきました。百名近くの参加者でした。その会の中心におられたのは学力研の会員の崎山先生です。同じ思いで子どものために奮闘されている先生方が全国におられます。そんな先生のお力に少しでも立ちたいと思っています。コロナの影響で、新学期の子どもたちは明らかに変化していることでしょう。今までに私たちが経験していない状態に日本中がなっています。卒業生からバトンをもらえなかった5年生に最高学年の自覚を持たせるのは大変なことです。また、長期休み一歩も外に出なかつたという子どももいるかもしれません。先生方も同じです。4月下旬に疲れが出てしまい、今まで以上に学級経営で苦勞される先生方が出てくるのではないのでしょうか。その時に寄り添えるように、この「学力研の広場」があります。ぜひ同僚などにもおすすめてあげてください。みなさんで危機を乗り越えましょう。

◇4月におすすめて

副委員長 図書 啓展

新型コロナウイルスの状況下で、学力研の集会や講座を中止・延期せざるを得なくなり申し訳ありませんでした。その中で、新年度がスタートしました。子どもたちとの出会い・学期初めの学級・授業づくりはいかがですか。

子どもたちも先生も、キラキラ輝く一年間とするために、4月は踏ん張りどきですね。「学力づくりで学級づくりを」の視点を持ちながら、生活や学習のシステム・ルール確立を目指したいものです。

「**図解 授業・学級経営に成功する〇年生の基礎学力**」(1年〜6年、フォーラム・A)は何月にもどんなことをすればいいか、よくわかります。おススメです。

●算数習熟プリントの活用を

学力研定番の算数習熟プリントも新版ができました。印刷の時にページの数字を消さなくてもいい工夫や、考える問題・楽しいページも入り、バージョンアップしています。ぜひ学校での購入も含早めて普及・活用をお願いします。子どもたちに早く届けたいです！